

東 魂



埼玉県立越谷東高等学校
剣道部通信
第9号 2020/8/17

『赤胴杯』R2.8.15（本校剣道場）

日ごろの稽古の成果をこの「赤胴杯（男女別個人戦）」で発揮し、部員同士が切磋琢磨しあいながら、共に成長してほしいという目的で新しい胴を作りました。優勝者は次の赤胴杯までの1ヶ月間、この赤い優勝胴を着ることが出来ます。部員全員がこの赤胴を着ける権利があります。卒業までに全員が一度は着けてほしいと思います。しかし、繰り返しになりますが、優勝者のみが着けられます。部員全員がライバルであり、仲間でもあります。毎月月末に行われる、この「赤胴杯」を目指して、個々が成長できるよう稽古に励んでください。赤胴は福田武道具（半澤さん）に作っていただき、優の文字は1年生の染谷君のお母様が書いてくださいました。書面をお借りして、半澤さん、染谷さん、素晴らしい胴を作っていただきありがとうございました。



優勝

男子 小林 瞬也

女子 山村 茉里香

【優勝者の一言】

小林 瞬也

今年度初の赤胴杯を優勝することが出来てとても嬉しいです。今回優勝することが出来たのは、日頃の稽古で試合を想定したような打ち込みをするだけで無く、部活の仲間がいるからこそ出来るような技の研究や攻め合いの練習によって技術を向上することが出来たからだと思っています。また自分が後輩や同級生に教えられるように意識して練習することで、毎日の練習に集中して取り組めたことも今回の勝因だったと思います。しかし、これはあくまで部内戦であり自分たちが目指すのは次に控えた地区大会や県大会です。これからの稽古では自分の技術も向上させると同時に部内の仲間達でお互い高めあえるような稽古をしていきたいと思っています。赤胴杯はあくまで部内戦と言いましたが、部内戦こそお互いに高め合うことの出来る1番の練習だと思うので、切磋琢磨しあいながら、気を抜くこと無く自分が引退するまで赤胴は渡さないつもりで稽古に励みたいと思います。

山村 茉里香

優勝したからといって浮かれるのではなく、上を目指せるチームとなるよう、日々の練習から試合のつもりで練習していきたいです。また、男子と試合をしても、もっといい試合ができるようにしていきたいです。